
マルチメディアム

箕音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マルチメディアム

【Nコード】

N9448H

【作者名】

箕音

【あらすじ】

- 2050年 - 地球は、温暖化をのり越え平和を手にした。だが、突然の異国の使者により政府はのっとられる。それから月日は流れ5年・・・

t a l k 1 戦記への火蓋 - r e c o r d o p e n f i r e

t a l k 1 戦記への火蓋・r e c o r d o p e n f i r e

- 2050年 -

地球は、温暖化をのり越え平和を手にした。

だが、その平和への対価は大きかった。一部の国と地域で
森などの自然が、砂漠

と化し破壊されてしまった。

幸い、街などは無事だった。

しかし、日本への被害は大きかった。

森などの自然が砂漠と化し、首都・東京も甚大な被害がで、
さらには軍事機関や

政府の支援物資が間に合わないほど被害が大きかった。

それでも、市民や民間人は無事で死者も少なかった。

復興作業翌日、政府に知らせが届いた。

政府に用があるといった謎の団体がいたそうだ。

その団体の名は『アネモネ』。異国の使者といつてきている人達だ。

だが、政府はそれを断った。理由として、持て成す場所や食料がままならない今

の状況では政府へと招くことができないからである。

その為、それを断ったのだ。

そのことにより、予期せぬことが起こることもしらずに・

・

翌日、悲劇が起きた。

昨日断った異国の使者『アネモネ』が、人々を殺し始めたのだ。

今までに死者は10人にのぼる。

そのため、政府は許可せざるおえなかった。

・

会談当日・・・

「お招きしたか。」

「はい。大臣の仰るとおり『アネモネ』様方ご一行をお通ししました。」

「よろしい。」

そんなぎこちない会話を続けていると、扉の向こうから誰かがやってきた。

トン・トン・トン

「失礼します。お連れしてまいりました。」

そこへ、入ってきたのがフードをかぶった六人組みだった。

「ようこそ。政府へ。」

「お招きどうも。」

と挨拶をすますと、大臣は部下に下がれと命じた。

「今回は一体何の用でコチラに？・・・」

「彼方方にお問い合わせがあるのです。」

「お願いとは？」

「政府を譲ってはいただけなんでしょうか？」

大臣は、啞然とする

「それは、困る。」

「でしたら、条件をつけましょう。」

「条件だと」

「ええ。ここを豊かにした暁には彼方に政権を譲りましょう。」

「

大臣は、欲に負け了解した。

「よかるう。乗った。これからもよろしく。」

次の瞬間、大臣は倒れた。

「クスクス・・・無残だね。人間・・・クスクス」

「甘いのですよ。我々は権力が欲しいだけですから・・・」

「ばかだねえー！。」

「バカーバカー」

「・・・・・・・・」

「これで、あの方も喜ばれるでしょう。」

新政府「オリジン」が誕生する。

t a l k

1

戦記への火蓋

- r e c o r d

o p e n

f i r e

(後書き)

感想などまっています

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9448h/>

マルチメディアム

2011年1月22日14時38分発行